

報道関係各位
プレスリリース

2024年7月25日
株式会社 Luup
株式会社西武ホールディングス
東急株式会社

Luup が西武・東急と資本業務提携

沿線の利便性向上・移動活性化を通じた安全・安心なまちづくりを目指して

株式会社 Luup（以下「Luup」）は、このたび、株式会社西武ホールディングス（以下「西武ホールディングス」）の連結子会社である株式会社ブルーインキュベーション（以下「ブルーインキュベーション」）、及び、東急株式会社（以下「東急」）と、次世代の移動インフラを構築し、沿線価値をさらに高めるまちづくりを推進することを目的に資本業務提携契約を締結しましたことをお知らせいたします。

LUUP Seibu Holdings 東急

Luup が西武・東急と 資本業務提携



西武グループと東急は、日本を代表する交通インフラ事業者として、それぞれが鉄道沿線の利便性向上、移動活性化による暮らしやすいまちづくりを推進しています。多くの人々が日常生活において利用する“動脈”のような「鉄道」という移動インフラを、電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティのシェアリングサービス「LUUP」が、短距離で小回りの効く移動手段として“毛細血管”のように補完することで、沿線価値を向上させることを目指し、このたびの提携に至りました。

Luup は、“街じゅうを「駅前化」する新しい短距離移動インフラをつくる”をミッションに掲げ、電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティを用いたラストワンマイル移動インフラ「LUUP」を提供しています。2024年7月現在、東京・大阪・横浜・京都・宇都宮・神戸・名古屋・広島・仙台・福岡の10エリアを中心に展開しており、ポート数は国内のシェアサイクル業界において最多となっています（※）。将来的には幅広いモビリティを取り扱い、全ての人が自由に移動できるまちづくりを目指しています。

西武グループと Luup は、東京プリンスホテルや東京ガーデンテラス紀尾井町、ダイヤゲート池袋など同社の関連不動産への LUUP ポートの設置を進めています。

東急と Luup は、Luup が東急アクセラレートプログラム（現東急アライアンスプラットフォーム）に参画し、東急(株)グループとの事業共創検討を通じて「TAP 2019DemoDay」の二子玉川賞を受賞して以来、東急線沿線における移動利便性向上の協業を進めてきました。すでに 20 箇所以上に導入され、近隣住民の方々に日々の移動でご利用いただいています。

さらに、2023 年 10 月には、鉄道横断型社会実装コンソーシアム「JTOS」の実証実験の一環として、西武グループとは埼玉県秩父市にて、東急とは大分県別府市にて、LUUP の実証導入を実施しており、外国人を含む観光客の利便性向上に向けて取り組んでいます。

西武グループと東急は、まちづくりを担うインフラ企業として、今後も関連施設に LUUP のポート設置を推進することに留まらず、Luup との事業連携を加速させることで、安全・安心に配慮しながら、駅前のみならず、沿線全体の賑わいを創出していきます。

（※Luup 調べ。2024 年 7 月におけるマイクロモビリティシェアリング事業者等による全国のポート数に関する公表情報、公開情報と比較しております。）



駅前のみならず、沿線全体のまちが活性化される未来を目指しています。

｜西武グループと Luup：資本業務提携の詳細

1. さらに便利で自由な移動を企図し、西武線沿線やグループの施設における LUUP ポートの設置拡大をおこないます。
2. 「LUUP for Community」（自治体・企業・団体などの地域コミュニティによる LUUP の運営が可能なサービス）を西武グループ関連エリアへ導入し、地域住民や観光客の移動手段の確保やまちの活性化に貢献します。また、LUUP の新しいモビリティも積極的に導入します。
3. 両社連携により、さまざまな形で便利なサービスを創造し、地域コミュニティのオーナーが、魅力的でサステナブルに運営できるモデル開発も推進します。

｜東急と Luup：資本業務提携の詳細

1. 両社の交通データの分析を通じて東急線沿線におけるポート設置戦略等を連携して策定し、東急線沿線や東急(株)グループ施設周辺など交通結節点となる場所へ LUUP ポートを設置し、お客さまの利便性向上を図ります。
2. 両社のリソースを有効活用し、LUUP のオペレーションなど、事業の相互的な効率化を推進します。
3. 東急線沿線の LUUP ポートを多機能化し（例：防災拠点としての機能搭載など）、沿線価値を高めるまちづくりを目指します。

【株式会社 Luup について】

株式会社 Luup は、電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティを用いて、街じゅうを「駅前化」する新しいインフラづくりに取り組んでおり、現在、電動キックボードや電動アシスト自転車のシェアリングサービスを東京・大阪・横浜・京都・宇都宮・神戸・名古屋・広島・仙台・福岡中心に提供しています。マイクロモビリティの普及による CO2 削減と、ご高齢の方も乗ることができる新しいモビリティの導入も実現し、すべての人が安全・便利に移動できる持続可能な社会をつくれます。

・所在地：東京都千代田区神田佐久間町三丁目 21 番地 24 AKIHABARA CENTRAL SQUARE 4 階

・代表者：岡井大輝

・創業：2018年7月

・URL：<https://luup.sc/>

・アプリダウンロードURL：<https://ride-your-city.luup.sc/Myjb/cfcdb04a>

※LUUPアプリは、iOS 16以降、iPhone 8以降（iPhone SE第1世代を除く）、Android OS 10.0以降の端末でお使いいただけます。

※表記について：会社名は「株式会社Luup」、サービス名は「LUUP」と表記しています。

【株式会社西武ホールディングス・株式会社ブルーインキュベーションについて】

株式会社西武ホールディングスは、2006年に設立された西武グループの純粋持株会社。不動産事業、ホテル・レジャー事業、都市交通・沿線事業を中心に、お客さまの生活に密着した幅広い事業を展開する企業グループ。「でかける人を、ほほえむ人へ。」をスローガンとして掲げ、お客さまの行動と感動を創造するとともに、株主、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーの満足度を向上させ、豊かで持続可能な社会の実現を目指しています。

株式会社ブルーインキュベーションは、西武グループにおいて、インキュベーション事業、新規事業の企画開発、支援及び運営に関連する事業に取り組んでいます。

・会社名：株式会社西武ホールディングス

・所在地：東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

・代表者：代表取締役社長兼COO 西山 隆一郎

・設立日：2006年2月3日

・事業内容：「不動産事業」「ホテル・レジャー事業」「都市交通・沿線事業」の3事業を中心にスポーツ事業等、幅広く事業を展開

・URL：<https://www.seibuholdings.co.jp/>

・会社名：株式会社ブルーインキュベーション

・所在地：東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

・代表者：代表取締役 原田 武夫

・設立日：2020年5月1日

・事業内容：インキュベーション事業、新規事業の企画開発、支援及び運営に関連する事業

【東急株式会社について】

214社7法人（2024年4月末時点）で構成される東急グループの中核企業として、「美しい時代へ」というグループスローガンのもと、「まちづくり」を事業の根幹に置き、長年にわたって、東急線沿線を中心としたお客さまの日々の生活に密着したさまざまな領域で事業を進めています。

・会社名：東急株式会社

・所在地：東京都渋谷区南平台町5-6

・代表者：取締役社長 堀江正博

・設立日：1922年9月2日

・事業内容：不動産賃貸業、不動産販売業、その他事業

・URL：<https://www.tokyu.co.jp/index.html>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

● 株式会社Luup

・広報担当：松本・村本

・E-mail：pr@luup.co.jp

・報道関係者からのお問い合わせ：コーポレートサイト（<https://luup.sc/>）下部のお問い合わせフォームより「報道・メディアの方向け」を選択の上、ご連絡ください

・サービスに関するお問い合わせ：<https://support.luup.sc/hc/ja/requests/new>

● 株式会社西武ホールディングス

・広報部 担当：宇野・杉林・関

・電話：03-6709-3112

・E-mail：shd-kouhou@seibuholdings.co.jp

● 東急株式会社

・社長室 広報グループ 報道担当

・電話：03-3477-6086